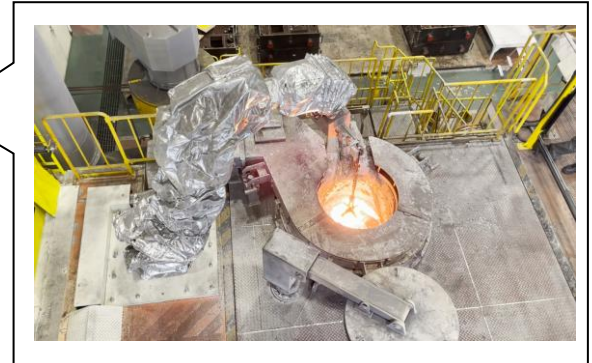


川崎重工業株式会社

2026年9月9日

**遠隔操作ロボットシステム「Successor」の
掻き混ぜ作業向けコミュニケーター「Plesio」を新発売
～ロボット化が困難であった分野への新たなソリューション～**



川崎重工は、遠隔操作ロボットシステム「Successor（サクセサー）」を用いた掻き混ぜなどの作業の遠隔操作・自動化に適用できる新たなコミュニケーター※1「Plesio（プレシオ）」を発売します。

「Successor」は、遠隔協調で作業者の動きを再現できる遠隔操作システムです。既に塗装、研磨などの作業に対応したコミュニケーターを販売しており、多品種少量生産や非定常作業へのロボット導入を後押ししています。

「掻き混ぜ作業」は、人の感覚を必要とする場合が多く、ロボットによる遠隔操作や自動化が難しい分野です。そして、人の感覚に頼った作業であることから、作業者の技能の差によって品質が左右されるという課題もあります。今回新たにラインアップに加わる「Plesio」は、自由度と動作範囲が大きく、力覚フィードバック機能を有したコミュニケーターで、実際の現場と近い感覚で直感的に遠隔操作による作業が可能です。加えて、熟練作業者の動きをロボットに再現、自動化させることもできるため、熟練作業者による作業を基準として、品質や生産性を保ちながら自動化を実現します。これにより、少子高齢化に伴う人口減少によって熟練作業者が減少し、作業の担い手不足も深刻化する製造現場に貢献するソリューションとなることを目指しています。

当社では、主な用途として、溶解炉（誘導炉等）内の不純物を取り除く作業（ノロ掻き）※2のような、高温にさらされる危険で過酷な作業現場へのソリューションとして「Plesio」を活用することを想定しています。このような作業でも、熟練作業者の動きをロボットで再現することにより、作業者の安全性や快適性の改善を実現します。

今後もロボット製品を通じて、最先端の技術と革新的なソリューションを提供し続けることで、さまざまな分野での自動化と省力化に貢献し、新しい産業の未来を創造していきます。

※1 ロボットを遠隔で操作するための装置

※2 誘導炉内で鉄を溶解すると、1,500℃もの高温になる溶湯（ようとう＝溶けた鉄）の中に鉄の不純物（ノロ）が発生します。溶湯内に生じる不純物を凝固剤で固めて、鉄製の棒状ツールで絡め取ってすくい上げる作業は「ノロ掻き」と呼ばれ、鑄造の現場に必ず生じる工程の一つです。暑い工場の中、1,500℃の溶湯に相対して数十 kg もの重さがあるノロを掻き除く作業は危険で過酷です。ノロ掻きなどの炉前作業に適用可能な「炉前作業支援ロボットシステム」は、富士電機株式会社・双日マシナリー株式会社・三明機工株式会社および当社の4社の技術を組み合わせて共同で構築しました。

【関連プレスリリース】

遠隔協調で熟練技術者の動きを再現する新ロボットシステム「Successor」を販売開始（2017年11月29日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20171129_1.html